

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	1地域資源を活かし、文化に親しむ取組の推進					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	22.7%	34.7%		25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	19,081人	3,891人	5,700人		22,000人

中項目	1文化に触れる機会づくり		分野計画参照ページ	P22
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各団体主催の文化連盟祭、美術協会展、アンサンブルフェスティバル、わがままコンサートは中止となった。 		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での各種イベントの開催方法を検討していく必要がある。 	
音楽祭開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）、チャレンジコンサート及びフレッシュコンサートは中止となった。 		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での各種イベントの開催方法を検討していく必要がある。 摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）は全国規模のコンクールであり、他府県からの人流が伴うため、他市の大規模イベント等の開催事例を研究していく必要がある。 	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 矢井田瞳コンサート(191人)、半崎美子コンサート(200人)、松崎しげるコンサート(254人)、鼓動(202人)、北海道歌旅座ザ・コンサート(103人)、826asukaエレクトーンライブ(175人)、ファミリークラシックコンサート(217人)の7つのイベントを開催し、合計で1,342人の入場があった。 ※矢井田瞳コンサート、半崎美子コンサートは前年度中止となったイベント 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、トレンドにアンテナを張り、魅力的なイベントを開催することで、多くの市民が文化に触れられる機会を提供していく。 	

ちびっこ劇団育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ちびっこ劇団「ひなどり」の発表会は中止したが、摂津市民演劇祭では新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の工夫をこらして発表の場を作ることができた。 ・市内の全小学校1年生を対象に、劇団員の募集チラシを配布し、劇団員数が29人（前年度比+4人）となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇団員に小学校2・3年生が少ないため、募集チラシの配布対象を拡充する等のアプローチを検討していく必要がある。
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・味生公民館で「沖縄三線入門講座」を5回実施し、延べ39人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策や新しい生活様式に応じた内容や、その開催方法を検討し、今後も継続して講座を実施する。
こども展覧会開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・10月21日～24日の間に、コミュニティプラザで、こども展覧会を開催し、市内大学の保育学科の学生と共同で運営した。 ・1,160点（前年度比+282点）の出展があり、1,366人（前年度比+295人）の来場者があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで出品していなかった幼稚園などに積極的に声掛けを行うことで大きく出展数を伸ばすことができ、結果として来場者も大きく前年度を上回った。 ・展示方法等の会場作りの部分に改善の余地があるため、改善策を検討していく必要がある。

中項目	2高齢者、障害者、子育て世代等に対する機会の拡充	分野計画参照ページ	P23
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを踏まえ、いきいきプラザ2階の男女トイレを洋式化した。（前年度は3階のトイレを洋式化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者アンケート等を踏まえ、ソフト・ハードの両面で、誰もが利用しやすいよう施設を運営していく必要がある。 	
市立ふれあいの里運営事業 障害福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者・老人福祉センターで、体操やカラオケなどの教室及び陶芸や書道、革工芸などの同好会活動を実施した。 ■延べ利用者数：主催事業 593人（前年度比-89人） 同好会 2,500人（前年度比-511人） 個人・団体 648人（前年度比-392人） ・身体障害者・老人福祉センターの自動ドアやエアコンを修繕するなど、活動環境を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症等の影響により、身体障害者・老人福祉センターの延べ利用者数は減少した。 ・コロナ禍における開催方法やイベント内容を研究し、利用者の増加を図る必要がある。 	
交通バリアフリー整備事業 道路交通課	<ul style="list-style-type: none"> ・新在家鳥飼上線において、4箇所の歩道段差切下げ工事を実施した。 ・全体の整備必要箇所1,034箇所のうち815箇所の整備が完了し、整備率は78.8%（前年度比+0.4%）となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、くすのき公園テニスコートへのアクセス路となる新在家鳥飼上線の4箇所の工事を実施する。 	
公民館施設改修事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・新鳥飼公民館において、2階身障者用トイレに非常連絡ベルを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立公民館で、施設及び備品・機器の改修や更新に合わせて、更なるバリアフリー化を検討する。 ・小規模な修繕でバリアフリー化が可能な場合は随時行っていく。 	

<p>老人福祉センター事業 高齢介護課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・231日開館し、入館者は延べ6,018人（前年度比－665人）であった。 ・せつつ桜苑及びふれあいの里で、いきいきカレッジとして計30コマの講義を実施し、受講者数は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■せつつ桜苑：延べ419人（前年度比－45人） うち、新規受講者：90人（前年度比－30人） ■ふれあいの里：延べ308人（前年度比－44人） うち、新規受講者：150人（前年度比＋75人） ・受講要領の配架場所を2会場と市役所に限らず、公民館やコミュニティプラザ等の公共施設にも拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきカレッジの一般教養科目として実施したスマートフォン講座が好評であったことに加え、「より詳しく学びたい」というニーズに対応するため、令和4年度の専門科目として新たなコースを設置する。また、老人福祉センターの自主事業においても講座を実施し、高齢者のデジタルデバイドの解消につなげる。
<p>老人クラブ活動事業 高齢介護課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、総会、スカイクロス大会、カーリンコン大会、会長研修会等、老人クラブ連合会主催のイベントの大部分は中止となった。 ・事務局として地域市民活動に従事している老人クラブ連合会役員との密な連携のもと、下記のとおり、団体運営の補助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ■役員会における重要案件の協議や、屋外でのスポーツ大会等については、感染症対策を講じながら、徐々に活動を再開した。 ■春と秋にグラウンドゴルフ大会を開催し、春は108人（前年度比－45人）、秋は79人（前年度比－49人）が参加した。 ■地域ごとの単位クラブでは、参加人数を制限しながら、健康増進につながる体操等を行った。 ■部会活動を除く、書類作成と書類管理、連絡調整を担った。 ・会員数2,225人（前年度比－161人）、51クラブ（前年度比－1クラブ）と減少傾向にあり、今後の運営等が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、感染症対策を講じながら老人クラブ活動が行えるよう、事務局としてサポートするとともに、必要に応じた情報提供を行う。 ・新規会員を確保するため、魅力ある老人クラブ活動を創設していくことと、周知啓発・広報活動が求められる。事務局として、他市状況等の調査・情報提供など協力ながら検討していく。
<p>障害者福祉関係団体補助事業 障害福祉課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者団体に対し、文化交流や健康増進などの各種活動に補助金等を支援した。 ・新型コロナウイルス感染症等の影響により、社会見学や輪い輪い祭り等、多くの活動が中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種活動等の企画や周知により、障害のある方が参加しやすい環境をつくり、障害者の社会参加を促進する必要がある。
<p>国際交流事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会において国際交流協会活動報告紙を発行した。 <ul style="list-style-type: none"> ■SAIEレポート（年間報告）：発行部数1,100枚 ■かわら版：発行部数3,500枚・発行回数4回／年 ■やさしい日本語を導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会の発行する情報誌に加え、広報紙に活動を掲載する等、様々な情報発信手段で広く市民に活動を周知していく。

中項目	3情報の収集・発信と共有化		分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
<p>文化振興事業 文化スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪人間科学大学とイベントガイドの作成を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止・延期が散見されたため中止した。 ・広報紙・ホームページ・LINE・各公共施設でのチラシ配布等により、各種イベント情報を発信した。 ・矢井田瞳コンサートや摂津いきいき塾初級囲碁教室等の参加者に、イベント情報の入手方法に係るアンケート調査を実施し、878件の回答があった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・徐々にイベント等が再開されているため、見やすく興味を惹くイベントガイドの作成を検討していく。 ・アンケート調査では、チラシ等から情報を入手する方が多い傾向であったため、全小中学校へのチラシの配布等、対象者ごとのアウトリーチを検討していく必要がある。 	

公民館運営事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催前にホームページやチラシ、広報紙等への掲載を行い、市民に周知を図ることで参加促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、イベント開催時の様子をホームページに掲載する等新たな情報を発信することで、参加促進を図っていく。
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ガイドブック「摂津コミネット」の情報が更新されておらず、掲載すべき団体を整理できていない状況であるため、整理を行ったうえで、ホームページ等に掲載する必要がある。

中項目	4地域資源（文化財・伝統文化・自然環境）を活かしたまちづくりの展開		分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
摂津市史編さん事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の収集・整理・保存を実施し、41,000点の保存を終えた。（前年度実績：40,000点） ・『新修摂津市史 自然地理・先史・古代・中世編』第1巻を刊行した。 ・令和4年度刊行に向け、『新修摂津市史 近世・近代編』第2巻の原稿を入稿し、初校まで完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、『新修摂津市史』刊行に関連した聞き取り調査や博物館・図書館等での資料調査に支障が出ているため、必要に応じてスケジュールの見直しを検討していく必要がある。 		
文化財保護事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・開発に先立つ立会調査を6件実施した。（前年度比+5件）また、遺物・遺構の発見はなかった。 ・学校休校の影響で、味舌小学校で実施していた味舌むしろの体験授業を中止した。 ・摂津市の歴史を後世に伝えるため「ふるさと摂津講座」を開催し、49人が参加した（前年度比-39人）。 ・ふるさと摂津案内人養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、講座の参加者数が減少した。 ・感染拡大防止対策や新しい生活様式に応じた内容や、その開催方法を検討し、引き続き体験授業等を実施する。 		
生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」については規模を縮小し、9月に「ペットボトルアート作品展」を開催するとともに、10月に「ペットボトルアート写真コンクール」を開催した。 ・10月に「コロナ禍の市民活動及び福祉について考える」をテーマに「生涯学習市民のつどい」を開催し、43人が来場した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」及び「生涯学習市民のつどい」を実施する。 ・市民活動の活性や意欲を向上させるため、新規役員を増やす方法や新しい取組について検討するなど、実行委員会の自立を促していく必要がある。 		

中項目	5文化交流活動の活性化・多文化共生の推進		分野計画参照ページ	P25
関連する主な事業	令和3年度の取組実績	分析・考察		
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を3回開催し、80名が参加した。（令和2年度は中止） 市民活動支援講座として、「ZOOMを使いこなそう連続講座」を開催し、6人が受講した。（コロナ禍のため応用編は中止）また、「初めてのSNS講座」を開催し、16人が受講した。（令和2年度は中止） 地域課題解決等に取り組む5団体（前年度比±0団体）に市民公益活動補助金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会は新型コロナウイルスの影響で参加者数が減少しているが、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。 市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 市民公益活動の補助金は3年を限度としているが、活動を持続可能なものとなるよう、例えば法人化を検討するなど、その必要性和メリットについて、市民団体に伝えていく必要がある。 		
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫県、大阪府の摂津圏の地域の自治体で構成する摂津圏文化行政連絡協議会で、オンライン事業やコロナ禍での広報戦略、指定管理者制度等について情報交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における各市町の様々な取組を共有することで、今後の事業展開のについて参考としていく必要がある。 		
国際交流事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市であるバンダバーグと電子メールで連絡を交わした。 国際交流協会の各種講座を支援し、参加者数は以下のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■国際理解講座30人（前年度比+9人） ■青少年英語講座16人（前年度比+7人） ■大人の英会話講座47人（前年度比+2人） 日本語教室を市内5会場で計348回（前年度比+96回）実施し、890人（前年度比-116人）が参加した。（開催回数、開催人数にはweb開催を含む。） とりかいかども園とバンダバーグのフォレストビュー幼稚園の園児同士によるオンライン交流を実施した。 「外国人市民へのわかりやすい情報提供ガイドライン」に基づき、市民団体及び市職員を対象に「やさしい日本語」の活用に向けた協働研修を実施した。（参加人数 市民団体16人 市職員31人） 	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市との更なる交流の発展に向け、Zoom等の活用を検討していく。 「外国人市民へのわかりやすい情報提供ガイドライン」に基づき、「やさしい日本語」によるパンフレットの作成や、庁内案内サインの変更等の取組を進めていく必要がある。 園児同士の交流は好評であったことから、引き続き、幼少期から異なる文化や言語に触れる機会を提供していく。 ロシアのウクライナへの侵攻に伴い、ウクライナからの避難民が本市に転入される可能性があることから、スムーズな受入に向け、他自治体の事例を踏まえながら、関係各課の役割を整理していく必要がある。 		
公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 新鳥飼公民館で「カリンバを弾いてみよう」を開催し、10人が参加した。 鳥飼東公民館で「アメリカンスーツ作り講座」を開催し、14人が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き感染防止策と共に、新しい生活様式への対応を講じながら、今後も継続して講座を実施する。 		

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	2次代の文化を担う人材育成の活動の支援					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	84.0%	91.0%		90.0%
KPI (指標)	歴史・文化財に係る講座参加者数（延べ人数）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	113人	88人	49人		200人

中項目	1青少年や次世代アーティストを呼び込む文化芸術環境の更なる拡充		分野計画参照ページ	P26
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
こども展覧会開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・10月21日～24日の間に、コミュニティプラザでこども展覧会を開催し、1,160点（前年度比+282点）の出展があった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・出展数の増加は、幼稚園をターゲットに働きかけ、一部の幼稚園から初めて出展されたことが要因である。 ・引き続き、ターゲットを絞った働きかけを進めていく。 	
音楽祭開催事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、摂津音楽祭（リトルカメリアコンクール）、チャレンジコンサート及びフレッシュコンサートは中止となった。 ・リトルカメリアミニコンサートを6小学校（前年度：5小学校1幼稚園）で実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・リトルカメリアミニコンサートを実施した小学校でのアンケートでは、「クラシックだけでなく、子どもたちにも人気の楽曲を演奏するなど、興味をもって聴けるよう工夫されていてよかった。」等の回答があり好評であったため、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら実施する。 	
図書館運営事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民図書館、鳥飼図書センターで児童図書を合わせて2,721冊購入した。 ・児童図書の貸出件数は70,298冊（前年度比+14,103冊）であった。 ・市民図書館、鳥飼図書センターにYA（ヤングアダルト）コーナーを設置し、資料の整備や展示を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも感染症対策を講じながらイベントを実施し、貸出数はコロナ以前の水準に戻ってきた。 ・引き続き、書架のスペースを考慮しながら、選書基準に基づき青少年対象の蔵書を購入する。 	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・親子や家族で楽しめるファミリークラシックコンサートやエレクトーンライブを開催し、計392人が鑑賞した。 ・小学生を対象に、照明や音響機器の操作を体験する文化ホールバックヤードツアーを実施し、19人（前年度比+8人）が参加した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもが文化活動に触れられる機会を提供する。 	

小学校用副読本作成事業 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に改訂した社会科副読本「わたしたちの摂津」を活用し、市内の全小学3、4年生が摂津市の歴史や文化を学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、4年に1回の改訂ごとに情報を更新し、地域学習の推進に努める。
----------------------	---	---

中項目	2文化を支える人材の育成と団体支援・ノウハウ継承	分野計画参照ページ	P27
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察	
文化財保護事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと摂津案内人養成講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染防止策と共に、新しい生活様式への対応を講じながら、安心して講座が受けられるよう配慮する。 	
せつつ生涯学習大学事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> せつつ生涯学習大学を全13回開催し、5人（前年度比-2人）が受講するとともに、単発で計17人（前年度比+13人）が受講した。 せつつ生涯学習大学院を全3回予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。 せつつ生涯学習大学の企画・運営や各イベントへの参画等の活動を行う生涯学習リーダーは、せつつ生涯学習大学院を中止したため、養成者0人（前年度比±0人）であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供に向け、生涯学習大学を開催する。 	
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、美術協会展や文化連盟祭等、各団体の取組の多くが中止となった。 演劇祭を3年ぶりに開催した。 文化振興計画推進審議会において、団体間の情報交換等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 役員の高齢化や後継者不足等への対策を検討していく必要がある。 	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を3回開催し、延べ80名が参加した。（令和2年度は中止） 市民活動支援講座として、「ZOOMを使いこなそう連続講座」を開催し、6人が受講した。（コロナ禍のため応用編は中止）また、「初めてのSNS講座」を開催し、16人が受講した。（令和2年度は中止） 地域課題解決等に取り組む5団体（前年度比±0団体）に市民公益活動補助金を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会は新型コロナウイルスの影響で参加者数が減少しているが、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。 市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 市民公益活動の補助金は3年を限度としているが、活動を持続可能なものとなるよう、例えば法人化の検討を勧めるなど、市民団体を支援していく必要がある。 	
全国大会等参加補助事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 音楽コンクール、春のセンバツ高校野球、NPB12球団ジュニアトーナメント（軟式野球）、剣道、陸上競技、ゴルフ等の大会において、激励金を7件（前年度比+6件）交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 交付件数の増加は、コロナ禍で中止となっていた大会等が再開されたことが要因である。 引き続き、個人や団体の更なる飛躍に向け、支援する。 	

中項目	3企業連携・大学連携による文化振興に関する環境整備・人材育成	分野計画参照ページ	P28
-----	--------------------------------	-----------	-----

関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ルッツ南摂津でのフロアコンサートは中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中止となったことにより、民間施設を利用した発表会や展示会を実施することができなかった。コロナ禍においても、安心して事業を実施できるような他市等の事例を研究する必要がある。
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪人間科学大学とイベントガイドの作成を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止・延期が散見されたため中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々にイベント等が再開されているため、見やすく興味を惹くイベントガイドの作成を検討していく。

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	3市民参画による文化振興に向けた環境整備					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	22.7%	34.7%		25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	19,081人	3,891人	5,700人		22,000人

中項目	1文化施設を核とする文化振興の取組		分野計画参照ページ	P29
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績		分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、ひなどりの発表会や朗読劇等は中止したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、次の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ■アーティスト等コンサート・ライブ 6本（観覧者：1,140人） ■鼓童（観覧者：202人） ■落語会（観覧者：延べ331人） ■日本舞踊の体験（参加者：延べ47人） ■将棋、囲碁教室（参加者：延べ215人） ■文化ホールバックヤードツアー（参加者：19人） ・新型コロナウイルス感染対策として、文化ホール客席内及び貸室内の壁紙や天井等に、殺菌効果のある光触媒をコーティングし、客室入口に施工済みであることをPRする看板を設置した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナへの適応が進んだこともあるが、文化ホールの利用者は31,965人（前年度比+11,365人）となっているため、引き続き、トレンドにアンテナを張り、魅力的なイベントを開催することで、多くの市民が文化に触れる機会を提供するとともに、安全安心に施設を利用いただけるよう取り組む。 	
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・「摂津市民文化ホール新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」に基づき、施設を運営した。 ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴い、次の期間に貸館停止等を行った。 <p>※全日貸室停止期間：4月25日から6月20日までの間 夜間貸室停止期間：4月9日から4月24日、6月21日から9月30日までの間 21時閉館とした期間：10月1日から10月24日までの間 暴風警報による貸室停止期間：8月9日</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、国や大阪府からの要請を踏まえ、施設を最大限活用できるよう必要に応じてガイドラインを見直していく。 	

<p>コミュニティプラザ管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを配架するとともに、利用者へコミュニティプラザ以外の利用可能施設の情報を提供した。 ・指定管理者が主体となり、市民や文化関係団体と「10周年記念式典」「2021南千里丘クリスマスバル」「ロビーコンサート」等のイベントを開催した。（感染症対策のため規模を縮小） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、2年以上活動が実施できず、ノウハウの継承がなされていない団体もあるため、引き続き、協働のきっかけづくりとして、感染症対策を講じながら、イベント等を開催していく必要がある。
<p>コミュニティセンター管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを配架するとともに、利用者へ別府コミュニティセンター以外の利用可能施設の情報提供を行った。 ・「のびのびストレッチ～体のバランス～」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計21回（前年度比+10回）開催し、計696人（前年度比+443人）が参加した。 ・別府コミュニティセンターまつりの開催を予定していたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設後約5年が経過しているが、情報発信やノウハウの不足等から、地域との連携が不十分であると考えられるため、自治会等の地域のイベントに参画していく必要がある。 ・講座やイベントの参加者は高齢者が多い傾向にあり、若者特に男性が少ない傾向にある。 ・講座やイベントに、より多くの方が参加いただけるようSNSを活用した周知を進めていく必要がある。
<p>正雀市民ルーム管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを配架するとともに、利用者へ正雀市民ルーム以外の利用可能施設の情報提供を行った。 ・「ハッピーヨーガ教室」等、6講座（前年度比+2講座）を開催し、延べ737人（前年度比+189人）が参加した。 ・旧市民サービスコーナーのスペースに、市民が気軽に立ち寄れるきっかけづくりとして、コーヒーマーカーを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、いくつかの講座が中止となっており、コロナ禍での講座等の開催を検討していく必要がある。 ・既にたそがれコンサート等の地域のイベントに参画しているが、より多くのイベント等に参画していく必要がある。
<p>公民館講座開催事業 生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新島飼公民館で「伝統芸能に親しむ～落語を聞くと寿命が延びる～」を開催し、50名が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞スペースを有効活用し、感染防止策と共に、新しい生活様式への対応を講じながら、引き続きコンサート等を実施する。
<p>公民館管理事業 生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による制限の中でも可能な限りの活動ができるよう、定員の縮小、机やイス等の付帯備品の配置見直し、消毒作業等を行い、安全安心な施設運営に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コロナ禍においても、安心して活動いただけるよう感染症対策を講じながら施設を運用する。

中項目	2市民参画による協働の推進		分野計画参照ページ	P29
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
<p>文化振興事業 文化スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興計画推進審議会に、一般公募から2名、市内の活動団体、事業所から12名に参画いただき、コロナ禍における活動についての情報共有や第3期文化振興計画策定に向けた方向性を共有した。 ・セルリアン絵画展、三島地区スポーツ少年団軟式野球親善交流大会等の文化・スポーツ活動21件（前年度比+7件）を後援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民、市内の活動団体・事業者に文化振興計画推進審議会へ参画いただくとともに、後援名義の使用を承認する等、相互協力の上、文化振興を図っていく必要がある。 		
<p>市民活動支援事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援の講座として、「ZOOMを使いこなそう連続講座」（参加人数6人、コロナ禍のため応用編は中止）と「初めてのSNS講座（参加人数16人）」を実施した。（令和2年度は中止） ・市民公益活動補助金による財政的支援を地域課題解決等に取り組む団体5件に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・中間支援組織の必要性について認識しており、市民活動団体とのコミュニケーションを深め、中間支援活動の基盤を形成する必要がある。 		

公民館講座開催事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・安威川公民館でボーイスカウト摂津第3団の子ども達がおばけやしきを企画・運営する「夏の納涼おばけやしき」を協働で開催し、120人(前年度比+64人)が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の主体性を養うとともに、登録クラブの地域還元にもつながった。 ・参加者も親子での来館が多く、普段公民館を利用することの少ない年齢層に公民館の活動を周知できる機会となったため、引き続き、団体と協働で実施する。
---------------------------	--	---

中項目	3庁内推進体制の更なる充実		分野計画参照ページ	P30
関連する主な事業	令和3年度 の取組実績	分析・考察		
文化振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行前に、市民文化ホールや市立体育館のダンス利用が多かったため、市民芸能文化祭で、広報課とダンスによるシティプロモーションを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民芸能文化祭のダンス部門をPRする等、既存事業の磨き上げを進めていく。 		

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	4スポーツ・健康づくりの推進					
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	39.8%	37.6%		50.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	72,300人	39,467人	51,248人		78,000人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和2年度 結果	令和3年度 結果	令和4年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	84.0%	91.0%		90.0%

中項目	1スポーツ活動の推進と人材の育成		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和3年度の取組実績		分析・考察	
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員が参加している、こども会育成会・PTAスポーツ大会・地区市民体育祭・公民館まつり・摂津ふれあいマラソン等の地域スポーツ振興活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。 ・「集まれ未来のメダリスト摂津市体感プロジェクト2020」としてポッチャ体験会を実施し、26人が参加した。 ・同体験会上級障がい者指導員である大阪ポッチャ協会公認審判員を招聘し、スポーツ推進委員が障害をのある方への指導方法を学習した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での各種取組の実施について、他市等の情報を収集し、団体等と共有していく必要がある。 ・ポッチャについては、令和4年度の大会実施を検討していく。 	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の活動支援として、大会会場を確保するとともに、広報紙に団員募集記事を掲載し、広報板に団員募集のポスターを掲示した。 ・スポーツ少年団の団員数は186人（前年度比+10人）となった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・団員数の増加は、スポーツ教室イベントでスポーツに触れるきっかけづくりを行ったことや、ウィズコロナへの適応が進み、各団の活動が活発化してきたこと等が要因と考えられる。 ・更なる団体活動の充実に向け、広報紙、広報板掲載以外の団員募集を検討する必要がある。 	

スポーツ教室振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室運営委員会主催でスポーツ教室を232回（前年度比+46回）実施し、延べ4,183人（前年度比+1,931人）が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の増加は、新たな教室を実施したことやウィズコロナへの適応が進んでいることが要因であると考えられる。 ・アクティブチャイルドプログラムや家族でエンジョイスポーツなど、参加者があまり集まらない教室については、市民ニーズを把握し、教室の改廃等を検討していく必要がある。
体育施設管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを全体育館で実施し、26人（前年度比-12人）から回答いただいた。 ・味生体育館で新たにモビバン体操教室を30回実施し、延べ300人が参加した。 ・味生体育館で新たに指定管理者主催のバドミントン大会を開催し、172人が参加した。 ・味生体育館で指定管理者とスポーツメーカーが共同でバドミントンのイベントを開催し、68人の参加があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、62%の方から「満足」「大変満足」との回答をいただき、要因はスタッフの接客対応等が良かったことが考えられる。 ・今後は、新設した味舌体育館で指定管理者の強みを生かしたスポーツ教室等を実施するとともに、引き続き、既存施設でも魅力のあるイベントを開催していく。
温水プール管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとに水泳教室を実施し、年間延べ39,120人（前年度比+5,516人）が参加した。 ・一般利用者は23,640人（前年度比-2,082人）であった。 ・専用ホームページやブログ、ダイレクトメール等で情報を発信した。 ・利用者アンケートを実施し、40人（前年度比-23人）から回答いただいた。 ・観覧スペースや研修室を更衣室にする等の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室の増加の要因は、新型コロナウイルス感染症による閉館日が前年に比べると少なかったことが考えられる。 ・一般利用者の減少の要因は、新型コロナウイルス感染症の影響で感染の波が拡大するたびに、一般利用者が顕著に減る傾向が見られたためだと考えられる。 ・観覧スペースや研修室でのダンスやヨガ教室の再開を検討していく必要がある。
こども会育成事業 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・「摂津市こども会親善スポーツ大会」を実施し、ソフトボールの部に6チーム、キックベースボールの部に4チームが参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コロナ禍でも実施可能な取組を検討していく必要がある。
東京オリンピック・パラリンピック記念事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・温水プールで中村真衣氏による水泳教室を実施し、66人が参加した。 ・くすの木公園テニスコートで浅越しのぶ氏によるテニス教室を実施し、36人が参加した。 ・味生体育館で小椋久美子氏によるバドミントン教室を実施し、41人が参加した。 ・上級障がい者指導員によるポッチャ体験会を実施し、26人が参加した。 ・参加者や保護者を対象にアンケートを実施し、それぞれ50/66件、25/36件、32/41件、21/26件の回答をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を対象としたアンケートでは、練習や努力することの大切さを学んだという回答が72.2%であった。 ・保護者を対象としたアンケートでは、夢や目標を持つことの大切さを学ばすことができたとの回答が66.6%であった。 ・引き続き、アスリートから、技術だけではなく考え方や取組姿勢等を学ぶことができるような取組を検討していく必要がある。

中項目	2スポーツによる健康増進		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和3年度の取組実績		分析・考察	
健康せつつ21推進事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりグループと「摂津みんなで体操四部作」などの普及啓発として、地域の高齢者が集うリハサロンに体操の実演を行った。 ・ホームページに体操の動画を公開するとともに、DVD・CDを保健福祉課窓口で85枚無料配布した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍では、外出自粛等の理由で、高齢者の運動不足がうかがえる。高齢者が集う地域ごとで実施するリハサロンを活用し、引き続き、「摂津みんなで体操四部作」などの普及啓発を行うとともに、運動不足解消に取り組む必要がある。 	

まちごとフィットネスヘルシータウン事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発出されていない期間で、うきうきせつウォーキングを3回（10月・11月・12月）開催し、（前年度比+3回）開催し、166人（前年度比+166人）が参加した。 歩くことでポイントを獲得し、参加賞や抽選での商品があたる健幸マイレージを実施し、新規参加（登録）者が475人（前年度比-18人）で、事業開始から合計2,821人の参加（登録）者となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、感染状況を踏まえながら、ウォーキングの推進に取り組む。 健幸マイレージの新規参加（登録）者は前年度より減少しているものの、それでも450人以上が新たに利用している。新規の中で、若い世代の利用が低いいため、スマホアプリの利用ができることを周知し、新規獲得につなげる必要がある。また、多くの参加（登録）者がいるものの、この中でデータ送信がある時期から止まり、継続できていない者が多数いる。これらを復活させる取り組みにおいても検討する必要がある。
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングを1回実施し、65人が参加した。 <p>※例年2回実施しており、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、人数制限や安全に実施できるコース等を検討し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらハイキングを実施していく。
スポーツ教室振興事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 味生体育館で健康体操教室を実施し、延べ1,140人（前年度比-931人）が参加した。 味生体育館で新たにモビバン体操教室を30回実施し、延べ300人が参加した。 消防屋内訓練場と味生体育館でスポーツ庁新体力テスト実施要項に基づく体力測定を実施し、延べ40人（前年度比+26人）が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康体操教室の参加者数の減少は、第1四半期中止となったことが大きな要因であるため、引き続き、コロナ禍においても市民に参加いただけるよう他市の事例等を研究する必要がある。 体力測定の参加者数の増加は、健康マイレージとの連携や団体への案内、過去の参加者への案内の送付等が要因であると考えられる。内容は全国一律であるため、測定前後の運動指導の充実や指定管理者による追加サービスなどが対応できないか検討していく。
総合型クラブ支援事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室の開催にあたり必要な会場について、優先的に先押さえを実施して教室運営を支援した。 柳田テニスコートの管理人業務を指定管理者と協議の上ブルーウィングスに切り替えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き総合型地域スポーツクラブの教室事業、イベント事業、受託事業等について、会場確保、広報等様々な支援の可能性を検討していく。
体育施設維持管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 出産育児課と産後の女性の健康増進に向けたヨガ教室、親子教室等を立案した。 指定管理者と協議し、令和4年5月以降に味舌体育館で実施することを決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> こども園等を通じた子育て世代へのアウトリーチや、産後健診時等にチラシを配布する等、多くの方が参加いただけるようPRしていく必要がある。
市民ニュースポーツのつどい事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員会を中心にニュースポーツのつどいとしてゲートゴルフ大会、スティックリング大会を実施し、計120人（前年度比+10人）が参加した。 ポッチャ、スリータッチビーチボール、スティックリングなどの競技を体験できる体験会を実施し、計63人（前年度はすべて中止）が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> スティックリング大会及びゲートゴルフ大会の参加者は令和2年度と比較すると概ね同数となっており、一定のニーズがあるため、引き続き実施する。

中項目	3誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和3年度の取組実績		分析・考察	
体育施設維持管理事業 文化スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 当初の予定どおり、味舌体育館を3月25日に竣工させた。 味舌体育館における空調機の運用ルールを定めた。 くすの木公園テニスコートのネット及び目隠しネットを更新した。 		<ul style="list-style-type: none"> 味舌体育館が地域のスポーツや健康づくりの拠点となるよう運営していく必要がある。 味舌体育館における空調機の運用を検証し、今後、空調機を導入する体育館にも展開していく。 	

<p>体育施設管理事業 文化スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・味舌体育館の予約について予約システムを整備した。 ・屋外施設の抽選会を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として文化ホールや安威川公民館のホール等の広い場所で実施する事で密を回避した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、施設利用抽選会について、更なる感染症対策や利便性向上に向けた検討を進めていく必要がある。
<p>温水プール管理事業 文化スポーツ課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温水プールの利用者は次のとおりであった。 <ul style="list-style-type: none"> ■高齢者：延べ3,769人（前年度比+171人） ■障害者：延べ26人（前年度比+4人） ■子ども：延べ26,826人（前年度比+3,899人） ・学校の夏休み期間等に合わせて月曜日の休館日に無料開放を実施し、819人の利用があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室のスペースを広く確保する、こまめな殺菌を行う、指導者はプール用マスクを着用する等の感染症対策を講じながら、水泳教室を実施する。 ・引き続き、夏休み期間中の月曜日（休館日）に無料開放を行い、スポーツに取り組む機会を提供する。